

1. 単元構成・計画

教科名	社会科	学年	2年	時期	10月	
単元名	(2)ウ 日本の諸地域 (ウ)産業を中核とした考察					
目標	知識及び技能	中部地方について、3つの地域それぞれにみられる自然環境や社会環境などの特徴を生かした産業が発達していることを理解することができる。				
	知識及び技能	産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する特色ある自然環境、交通・通信などの様子や、そこで生ずる課題を理解することができる。				
	思考力, 判断力, 表現力等	中部地方において、産業の成立条件を地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、特色ある自然環境や交通・通信などの様子やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。				
	学びに向かう力, 人間性等	中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。				
評価	評価の観点	評価規準	評価材料			
	知識・技能	中部地方について、3つの地域それぞれにみられる自然環境や社会環境などの特徴を生かした産業が発達していることを理解している。	①ワークシート ②CBT			
	知識・技能	産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する特色ある自然環境、交通・通信などの様子や、そこで生ずる課題を理解している。				
	思考・判断・表現	中部地方において、産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、特色ある自然環境や交通・通信などの様子やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	①①Google スライド			
	主体的に学習に取り組む態度	中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。	①①Google スライド			
指導と評価の計画				評価計画		
時数	ねらい			知	思	主
1	中部地方の自然条件や社会的条件について理解し、東海・中央高地・北陸の各地方の産業に多様性が生まれる要因を予想する。			①②	●	●
2	東海地方の産業の発達の要因を、地域的特色から考察する。			②	●	①
3	中央高地の産業の発達の要因を、地域的特色から考察する。			②	●	①
4	北陸地方の産業の発達の要因を、地域的特色から考察する。			②	●	①
5	各地方の産業について振り返り、各地方の産業に多様性が生まれる要因を考察する。CBT の実施			②	①	①

※○主に評定に用いる評価 ●主に学習改善につなげる評価

## 2. 指導計画における学習履歴を利活用した活動について

1	各時間を通して、個人で考察した結果に対する生徒及び教師による助言を Google スライドに記録(コメント)する。コメントを受けて、個人の考察を加除修正する。
---	---

## 3. 単元の流れ

時数	学習活動	評価方法・評価基準など	指導上の留意点
1	①【単元を貫く学習課題:】の提示 ②中部地方の自然条件や社会的条件についての説明をもとに、東海・中央高地・北陸の各地方の産業に多様性が生まれる要因を予想する。	<p>&lt;Bの評価規準&gt;:(思考・判断・表現) 「中部地方の産業は、なぜ様々な特色があるのだろう」という課題に対する自らの予想を書いている。</p> <p>&lt;Cの生徒への手だて&gt;: 既習事項や生活経験などを踏まえて、自らの考えを記述できるよう助言を行う。</p>	単元の Google スライドに記載し、蓄積及び最終時に比較できるようにする。
2	①東海地方の産業の発達要因を、地域的特色から考察する。 ②考察結果について、クラスメートと考えを交流し合い、成立条件を明らかにするため、視点に基づきコメントをし合う。	<p>&lt;Bの評価規準&gt;:(思考・判断・表現) 東海地方における産業の成立条件を考察し、表現している。</p> <p>&lt;Cの生徒への手だて&gt;: 東海地方における産業の成立条件を考察するための要点を示し、自分の言葉で表現できるよう助言を行う。</p>	自らの考えと、助言コメントを受けてまとめたものを区別するようにしておく。
3	①中央高地の産業の発達要因を、地域的特色から考察する。 ②考察結果について、クラスメートと考えを交流し合い、成立条件を明らかにするため、視点に基づきコメントをし合う。	<p>&lt;Bの評価規準&gt;:(思考・判断・表現) 中央高地における産業の成立条件を考察し、表現している。</p> <p>&lt;Cの生徒への手だて&gt;: 中央高地における産業の成立条件を考察するための要点を示し、自分の言葉で表現できるよう助言を行う。</p>	自らの考えと、助言コメントを受けてまとめたものを区別するようにしておく。
4	①北陸地方の産業の発達要因を、地域的特色から考察する。 ②考察結果について、クラスメートと考えを交流し合い、成立条件を明らかにするため、視点に基づきコメントをし合う。	<p>&lt;Bの評価規準&gt;:(思考・判断・表現) 北陸地方における産業の成立条件を考察し、表現している。</p> <p>&lt;Cの生徒への手だて&gt;: 北陸地方における産業の成立条件を考察するための要点を示し、自分の言葉で表現できるよう助言を行う。</p>	自らの考えと、助言コメントを受けてまとめたものを区別するようにしておく。
5	①これまでの学習成果をもとに、各地方の産業に多様性が生まれる要因を考察する。 ②単元のまとめとして、CBT を実施する。	<p>&lt;Bの評価規準&gt;:(思考・判断・表現) 「中部地方の産業は、なぜ様々な特色があるのだろう」という課題に対し、これまでの学習を踏まえて、多面的・多角的に考察している。</p> <p>&lt;Cの生徒への手だて&gt;: 既習事項を確認しながら、考察の要点を示し、自らの言葉で表現できるよう助言を行う。</p>	

3. 単位時間案(第3時を例に)

(1)本時のねらい		
知識及び技能	中央高地の産業の特色やその課題を理解することができる。	
思考力,判断力,表現力等	中央高地で見られる産業の成立条件や発展した理由を、自然環境や地域のつながりなどの事象と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。	
学びに向かう力,人間性等	中央高地の産業の成立条件や地域で見られる課題を主体的に追究することができる。	
(2)学習の展開		
学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点 ●・○評価の方法
1. 前時の振り返り	1. 前時の考察内容や、助言コメントをもとに内容改善が行われた生徒 Google スライドを取り上げる。	
2. 学習課題の確認	2. 難易度別に設定した課題の要点について補足する。	
<b>本時の課題:中央高地の産業は、どのような理由で発達したのだろう</b>		
3. 中央高地の産業の特徴を資料等で調べ、課題に対する考察結果を Google スライドにまとめる。	3. 個人の考察に必要な知識や資料の見方を机間指導する。	
4. 他者の調査・考察結果に対する助言をそれぞれのコメントに記録する。	4. コメントをする際の視点や注意事項について一斉指導する。	
5. 他者の助言コメントを参考に、自らの Google スライドのまとめを更新し、考察を深める。	5. コメントの視点や内容が良いものを全体で取り上げ、さらなる思考を促す。	● 中央高地の産業の成立条件について多面的・多角的に考察、表現している。
6. 単元の課題について考える。	6. 本時の内容を踏まえてまとめさせる。	
(3)主に学習改善につなげる評価と改善の手だて		
思考・判断・表現	C (手だて)	Google スライドへの記載内容から、手だてが必要な生徒を把握し、学習課題の具体的な解決方法について助言(コメントを含む)を行う。
(4)主に評定に用いる評価と改善の手だて		
知識・技能	A	後日実施の CBT の正答率が、8割以上である。
	B	後日実施の CBT の正答率が、5割以上である。
	C (手だて)	後日補講や再テストなど行い、生徒の学習に対するつまづきに対する指導を行う。
主体的に学習に取り組む態度	A	中央高地の産業を中核とした地域的な課題を主体的に追究するとともに、自己の学習の状況を踏まえ、よりよく学習課題を解決しようと取り組んでいる。
	B	中央高地の産業を中核とした地域的な課題を主体的に追究している。
	C (手だて)	中央高地の産業を中核とした地域的な課題に対し粘り強く追究できるよう、生徒や教師からの助言を積極的に求めることや活用することを促す。